

<501> ワークシートの有効な活用法のエッセンスは？

授業で用いるワークシートには、次のエッセンスに示すような学習機能があります。このエッセンスを参考にして、学習指導及び学習評価が有効にできるワークシートを作成し、活用してみたいかでしょうか。

エッセンスー1：「学力の3要素」を記載活動することで育てることができる

「知識及び技能」と「思考力・判断力・判断力」及び「技術を工夫し創造する実践的な態度」も育てることが出来ます。なお、「技術を工夫し創造する実践的な態度」の育て方については、『<208>「技術を工夫し創造する実践的な態度」の学習指導のコツとは?』を参照下さい。

エッセンスー2：「評価の3観点」を記載内容から読み取ることができる

記載内容から観点「知識・技能」と「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」も客観的な評価資料を得ることができます。記載内容からの読み取り方法については、『上手な「授業づくり」に必要な学習評価のエッセンス』の各観点のエッセンスを参照下さい。

エッセンスー3：指導と評価の一体化を図ることができる

自分の学習指導のスタイルに沿い、記載活動する学習指導と記載内容からの学習評価とを連動することで指導と評価の一体化ができ、学習に相乗効果をもたらすことができます。

エッセンスー4：授業ごとの記載内容と題材のふり返し・まとめをつなげることができる

授業ごとの学習の様子をポートフォリオとして記録・蓄積することで、単発の授業だけでなく、題材全体を通して長期的に育成される「技術を工夫し創造する実践的な態度」の学力の形成に役立てることができます。

エッセンスー5：「技」と「知」を結びつけることができる

ワークシートは、実習活動の「技」と記載活動の「知」とが結びついた学習の成果として、生徒が技術分野で身につける「学力の3要素」の、学びの「学力の証」となります。